

平成21年度 内閣府「青年社会活動コアリーダー育成プログラム」

ドイツ帰国報告

ドイツにおける青少年育成のしくみ ～セクター間の連携と協働の視点から～

&

NPOマネジメントフォーラム参加報告

NPOマネジメントフォーラムに参加して

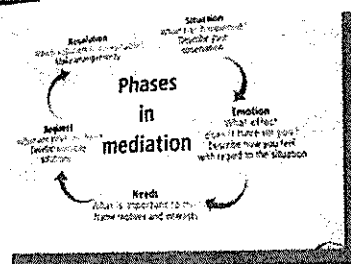
と き： 平成 22 年 5 月 19 日 (水) 19:30~20:30

参加費： ￥300(資料印刷代含む) ※会員無料

場 所： 仙台市市民活動サポートセンター 4F 研修室5

報告者： ドイツ帰国報告者：松村真理子

NPOマネジメントフォーラム参加報告者：田中聡子



主催・問い合わせ先： NPO法人 まなびのたねネットワーク / 担当 松村
TEL 090-1376-3572/Email manabinotane@yahoo.co.jp

※ 報告会前に、同室にて18:30より総会を開催しております。会員でない方もオブザーバーとしてご参加いただけます。
当団体の活動にご興味ある方は是非総会からお越しください。ご予約等は不要です。お待ちしております。

ドイツ帰国報告について

内閣府が実施する青年社会活動コアリーダー育成プログラムは、社会活動の中核を担う青年リーダーの育成を目標に、平成14年度から実施されています。

高齢者関連、障害者関連、青少年関連の社会活動に携わる日本青年（各分野8人）を、イギリス（高齢者）、フィンランド（障害者）、ドイツ（青少年）の各国に10日間派遣します。

訪問国では、関係機関や施設等を訪問して、派遣分野の背景事情や社会活動に関する先進的な取組みを学ぶと共に、関係者とのディスカッション等を通じて、帰国後、日本において、社会活動の中核として活躍するための研修を行います。

フォーラム報告について

内閣府が主催する「青年社会活動コアリーダー育成プログラム」の招へいプログラムで実施する「NPOマネジメントフォーラム」は、今年度の招へい国である英国、フィンランド、ドイツと日本の高齢者・障害者・青少年分野の分野の専門家・活動実践者による合宿型のディスカッション・プログラムです。

各国で事業運営の責任者を育成するためにどのような取り組みを行っているのかについて情報を共有するとともに、事業運営マネジャーの能力向上と、組織としてその育成を推進する観点の二つの視点から、効果的な人材育成について協議します。

～代表のヒトリゴト～

昨年度、団体スタッフである二人に事業参加を勧めたのは、代表である私でした。しかしながら「参加したい」と意思を固め、厳しい選考を通過して参加できたのは二人の運と実力です。

なぜ、二人に事業参加を勧めたのか？それは、私自身10年前、人生のターニング・ポイントとなった内閣府主催「世界青年の船」に参加し、様々な『副産物』を得られたからです。それは、現地視察や訪問からの学び、各国の人々との意見交換を通しての気づき、世界に広がるネットワークなどなど…。『青年の社会参加を目指して』というスローガンを掲げる世界青年の船に参加したからこそ、まなびのたねネットワークの活動につながり、それまでの経験が今の活動に活かされています。志を共にするスタッフだからこそ、同じような経験を共有し、団体だけでなく社会に還元できるような『副産物』を得てもらえたら、と。そして今、事業参加後の二人から、私自身、学ぶことが多々あります。

是非、二人が得てきたものを皆様と共有し、まなびのたねがこれから目指そうとしている『学校教育と社会教育をつなげた青少年の育成』と『ネットワークづくり』にご理解とご協力をいただければ幸いです。

伊勢みゆき

